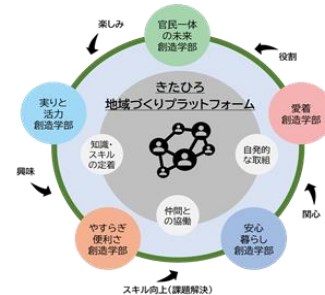


令和 2 年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

事業名	担い手育成総合事業			担当課名	まちづくり推進課	
総合戦略における基本目標	■ 基本目標 4 地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出 ■ 方向 1 健康づくり・元気づくりの促進と地域づくりを担う人材の育成					
事業始期	令和元年 6 月		事業終期	令和 4 年 3 月		
	令和元年度 決算 (1 年目)	令和 2 年度 決算見込み (2 年目)	令和 3 年度 当初予算 (3 年目)			計
事業費	16,368千円	8,546千円	6,550千円			31,464千円
交付金充当額	8,184千円	3,640千円	3,275千円			15,099千円
事業の目的	一人ひとりが地域課題に関心を持ち、みんなで地域づくりをするという意識を持つことで、将来的に地域で活躍する複数人のキーマンを育成する。					
事業概要	1. 事業概要 北広島町は長期総合計画において当町がめざすまちの将来像として『新たな感動・活力を創る北広島～ひとのチカラがあるれるまち～』を掲げている。そして重点方針を『地域に根付き、未来を担うひとづくり』としている。「きたひろ学び塾～With」は『「学びから始まるひとづくり」の活動による、持続可能な地域社会』を理念に、「次世代を担う地域リーダーの育成」に向けた取り組みとして令和元年度から本格稼働した。 (1)事業のねらい 「学びから始まる人づくり」の活動による 持続可能な地域社会 これからずっと元気な「きたひろしま」で在るために... 持続可能なコミュニティの実現 学ぶことを通じて地域の課題を知る。 地域に関心を持つことが、地域の活性化につながる第一歩となる。 守り、はぐくみ、伝えたい 地域への愛着醸成 住民が自ら行動することにより、地域の新しい魅力を発見したり作り出すことができる。 それにより地域のことがもっと好きになる。 みんなで持ち寄る知恵とワザ、みんなで取り組む「まちづくり」 多様なつながりの創出 『きたひろ地域づくりプラットフォーム』すなわち人や情報を結びつける土台を形成することにより、『自発的な地域づくり』の仲間の輪が広がる。 (2)事業のねらいと効果 地域への関心の向上と 地域課題の共有 ■地域課題の解決に取り組もうとする人材の育成のために、必要な知識・技術の習得を後押しする。 ■地域の課題を『自分事』として認識し、地域住民や公の組織が情報を共有できる環境を整備する。 横断的な取り組みの推進 ■公の組織が相互に繋がることにより、職員それぞれの知識や経験を活用する。 ■職員間で情報を共有する。 地域における取組みの 活性化 ■学びを通じて地域課題に取り組む人材を育成する。 ■『きたひろ学び塾』で習得した知識・技術を活用した地域での取組みを活性化させる。 人のつながりと 情報共有の場の創出 ■民と民、官と官、そして民と官が連携することにより、『きたひろ地域づくりプラットフォーム』の機能を円滑かつ効果的に発揮させる。					

事業概要	2. 事業の特色 「きたひろ学び塾～With」は長期総合計画の5つの施策分野に基づき、「5学部6プログラム」で構成されている。この5つの学部のいずれかに各支所や消防本部を含む全課が振り分けられ、行政組織全体での取り組みを展開している。 ■「きたひろ学び塾～With」は全ての部署が連携して行う事業である。 ■学部運営やプログラムの企画・運営において、現在の所属課に囚われず、これまでの業務で培ってきた知識や技術を活用できる場となる。 ■官民連携にとどまらず、課や職員間の連携による「協働のまちづくり」が期待できる。 ■「きたひろ学び塾～With」はそれらの人と知識・技術・情報をつないでいく共有の場(プラットフォーム)の役割を果たすことができる。 																																																											
令和2年度の取組と課題	新型コロナウイルスの影響により、従来のスタイルである「一会場集合型」のプログラムの開催が困難となった。それに伴い、プログラムの中止や当初計画の大幅な変更を余儀なくされた。そのような状況の中、新たな取り組みとして、WEB会議システムを活用した「サテライト型」のプログラムを実施した学部もある。また、会場を屋外とするなど各学部が工夫を凝らし、令和2年度は4つの学部が合計9回のプログラムを実施した。プログラムの内容は、「実りと活力創造学部」による「有害鳥獣対策における箱わな貸出制度および活用の実際」・「やすらぎ便利さ創造学部」による、芸北中学校と大朝中学校の生徒を対象とした「防災講座」・「官民一体の未来創造学部」による「地域リーダー育成講座」および同学部による「行政制度を活用した地域インフラの修繕技法を学ぶ講座」である。受講者数は延べ200人に至る。いずれのプログラムでも受講者アンケートを実施し、98.9%の参加者が参加したプログラムの内容について「満足」との回答をしている。 また、令和2年度の成果として、実際に地域のインフラ整備に取り組んだ受講者グループの出現や、制度活用事例数の増加および地域団体の意見交換の場の確立等が挙げられる。																																																											
重要業績評価指標（KPI）	1. 人材育成プログラム受講者の満足度の向上 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1年目)</th><th>令和2年度 (2年目)</th><th>令和3年度 (3年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値(増加分)</td><td>-</td><td>60%</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td></tr><tr><td>実績値(増加分)</td><td>-</td><td>91.9%</td><td>8.10%</td><td></td><td></td></tr></table> 2. 地域におけるワールドカフェ等の参加者の増加数 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1年目)</th><th>令和2年度 (2年目)</th><th>令和3年度 (3年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値(増加分)</td><td>200人</td><td>50人</td><td>100人</td><td>150人</td><td>300人</td></tr><tr><td>実績値(増加分)</td><td>-</td><td>81人</td><td>24人</td><td></td><td></td></tr></table> 3. 地域活動団体等における活動実施件数の増加 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1年目)</th><th>令和2年度 (2年目)</th><th>令和3年度 (3年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値(増加分)</td><td>4件</td><td>6件</td><td>8件</td><td>10件</td><td>24件</td></tr><tr><td>実績値(増加分)</td><td>-</td><td>6件</td><td>-1件</td><td></td><td></td></tr></table>						KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	-	60%	10%	10%	80%	実績値(増加分)	-	91.9%	8.10%			KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	200人	50人	100人	150人	300人	実績値(増加分)	-	81人	24人			KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	4件	6件	8件	10件	24件	実績値(増加分)	-	6件	-1件		
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)																																																							
目標値(増加分)	-	60%	10%	10%	80%																																																							
実績値(増加分)	-	91.9%	8.10%																																																									
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)																																																							
目標値(増加分)	200人	50人	100人	150人	300人																																																							
実績値(増加分)	-	81人	24人																																																									
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)																																																							
目標値(増加分)	4件	6件	8件	10件	24件																																																							
実績値(増加分)	-	6件	-1件																																																									
令和2年度の事業評価 (町による内部評価)	1. 計画の進捗状況		適切である																																																									
	・ 新型コロナウイルスによる影響はあるが計画通り事業を継続している。																																																											
	2. 事業の効果		成果があった																																																									
	・ 年度ごとにきたひろ学び塾を起点とした新たな地域活動が発生している。																																																											
	・ 受講者の満足度が前年比を上回っている。																																																											
今後の取組	拠点を「北広島町まちづくりセンター」へ移し、各プログラムの継続と平行して、地域づくりに係る知識・技術・仲間が集まる場としてのシステムを構築していく。																																																											

令和２年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

事業名	スポーツをキーワードとした地方創生事業			担当課名	まちづくり推進課		令和２年度の取組と課題																																																																								
総合戦略における基本目標	■ 基本目標２　キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進 ■ 方向１　ひとを呼び込む「きたひろしまの魅力」発信																																																																														
事業始期	令和元年４月		事業終期	令和４年３月																																																																											
	令和元年度決算 (１年目)	令和２年度決算見込み (２年目)	令和３年度当初予算 (３年目)			計																																																																									
事業費	13,970千円	27,344千円	31,131千円			72,445千円																																																																									
交付金充当額	6,985千円	13,672千円	15,565千円			36,222千円																																																																									
事業の目的	地域に根付く地域スポーツや、自然・文化・食などの地域資源を活用し、交流・関係人口の拡大による地域経済の活性化と、町民のスポーツとの触れ合いを通じて、「生きがい」や「やりがい」を感じることでできる地域活性化を促進する。																																																																														
事業概要	■北広島町スポーツコミッション活動安定化業務　　委託金額：3,993,000円（税込み） 委託先　：（一財）日本スポーツコミッション 北広島町スポーツコミッションの創設に向けて、「スポーツをキーワードとしたまちづくり研修会」の３回の実施、スポーツ庁との意見交換会の開催、北広島町が創設予定のスポーツコミッションと類似の活動を実施しているスポーツコミッションへの視察とヒアリング調査、アウトドアスポーツに関連した実証実験のコーディネートとそれに伴う検討会を行った。 ■北広島町スポーツコミッション創設準備事業　　委託金額：6,996,000円（税込み） 委託先　：（一財）どんぐり財団 北広島町スポーツコミッション創設に向けて、「スポーツを通じたまちづくり」の可能性についてYouTubeを活用したシンポジウムの開催、「北広島町＝ソフトテニスのまち」をPRするためのプロモーションビデオ制作、スポーツを目的に北広島町を訪れる来訪者の町内周遊を促進させるためのスポーツツーリズムの開発、北広島町の自然やスポーツ関連施設を有効活用したアクティビティの導入として熱気球とパラグライダーのデモンストレーション、「支えるスポーツ」に着目したスポーツボランティアの育成研修会、合宿メニューの開発や宿泊施設と連携した宿泊プランの作成を行った。 ■スポーツをキーワードとしたまちづくりに関する町民アンケート調査業務　　委託金額：2,992,000円（税込み） 委託先　：(株)ジャパン総研 スポーツをキーワードとしたまちづくり関連事業における成果指標の設定に活用するため、町民とスポーツについての関わりについて実態把握を行うためのアンケート調査を実施した。 ■スポーツ関連施設予約管理システム導入業務　　委託金額：4,977,500円（税込み） 委託先　：ソリマチ（株） 利用者の利便性向上のため、また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、遠隔地から予約状況の確認や使用申請ができるサービスを開始できるようスポーツ関連施設予約管理システムの構築及びシステムの提供。操作マニュアルの作成を行った。 ■スポーツ施設等のバリアフリー化促進事業（繰り越し事業） 豊平総合運動公園屋外トイレ改修・増築工事 ① 工事設計業務：（有）池崎設計　　委託金額：1,595,000円（税込み） ② 工事発注先：（株）竹下建設　　請負金額（前払い金）：6,790,000円（税込み） 豊平総合運動公園のソフトテニスコート側の屋外トイレのバリアフリー化を促進するとともに、新規に更衣室を整備することで利便性向上による利用者の拡大を図った。																																																																														
重要業績評価指標（KPI）	1. 本町の入れ込み観光客数の増加 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (１年目)</th><th>令和２年度 (２年目)</th><th>令和３年度 (３年目)</th><th>令和４年度 (４年目)</th><th>令和５年度 (５年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値（増加分）</td><td>1,743千人</td><td>10千人</td><td>20千人</td><td>30千人</td><td>30千人</td><td>30千人</td><td>120千人</td></tr><tr><td>実績値（増加分）</td><td>-</td><td>-48千人</td><td>-658千人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 2. 本町の観光消費額の増加 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (１年目)</th><th>令和２年度 (２年目)</th><th>令和３年度 (３年目)</th><th>令和４年度 (４年目)</th><th>令和５年度 (５年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値（増加分）</td><td>28億円</td><td>0.5億円</td><td>1億円</td><td>1.5億円</td><td>1.5億円</td><td>1.5億円</td><td>6億円</td></tr><tr><td>実績値（増加分）</td><td>-</td><td>-2.5億円</td><td>-8.3億円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 3. 北広島町スポーツコミッションが創出する新規雇用人数 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (１年目)</th><th>令和２年度 (２年目)</th><th>令和３年度 (３年目)</th><th>令和４年度 (４年目)</th><th>令和５年度 (５年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値（増加分）</td><td>0</td><td>0人</td><td>1人</td><td>1人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>2人</td></tr><tr><td>実績値（増加分）</td><td>-</td><td>0人</td><td>0人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (１年目)	令和２年度 (２年目)	令和３年度 (３年目)	令和４年度 (４年目)	令和５年度 (５年目)	KPI増加分 (累計)	目標値（増加分）	1,743千人	10千人	20千人	30千人	30千人	30千人	120千人	実績値（増加分）	-	-48千人	-658千人					KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (１年目)	令和２年度 (２年目)	令和３年度 (３年目)	令和４年度 (４年目)	令和５年度 (５年目)	KPI増加分 (累計)	目標値（増加分）	28億円	0.5億円	1億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	6億円	実績値（増加分）	-	-2.5億円	-8.3億円					KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (１年目)	令和２年度 (２年目)	令和３年度 (３年目)	令和４年度 (４年目)	令和５年度 (５年目)	KPI増加分 (累計)	目標値（増加分）	0	0人	1人	1人	0人	0人	2人	実績値（増加分）	-	0人	0人				
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (１年目)	令和２年度 (２年目)	令和３年度 (３年目)	令和４年度 (４年目)	令和５年度 (５年目)	KPI増加分 (累計)																																																																								
目標値（増加分）	1,743千人	10千人	20千人	30千人	30千人	30千人	120千人																																																																								
実績値（増加分）	-	-48千人	-658千人																																																																												
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (１年目)	令和２年度 (２年目)	令和３年度 (３年目)	令和４年度 (４年目)	令和５年度 (５年目)	KPI増加分 (累計)																																																																								
目標値（増加分）	28億円	0.5億円	1億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	6億円																																																																								
実績値（増加分）	-	-2.5億円	-8.3億円																																																																												
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (１年目)	令和２年度 (２年目)	令和３年度 (３年目)	令和４年度 (４年目)	令和５年度 (５年目)	KPI増加分 (累計)																																																																								
目標値（増加分）	0	0人	1人	1人	0人	0人	2人																																																																								
実績値（増加分）	-	0人	0人																																																																												
令和２年度の事業評価（町による内部評価）	1. 計画の進捗状況 概ね適切である ・北広島町版スポーツコミッション（きたひろスポーツコミッション）の創設に向けての準備、北広島町の持つ地域資源を活かしたツーリズム及びアクティビティの検証ができ、年度内の設立となった。 ・トイレのバリアフリー化による年齢や障がいに関係なく利用しやすい環境、更衣室の整備による合宿や試合などの主な来訪者である女性が快適に利用できる環境整備を行っている。 2. 事業の効果 成果があった ・コロナ禍の状況下ではあったがオンラインを活用したシンポジウムや研修会など、新たな手法での事業実施ができたことで、より多くの人に参加できた。 ・予約システムの導入は施設利用者の利便性に大いに貢献するものとする。町内のスポーツ施設の予約状況を一覧でき、目的に沿って利用施設の選択肢の幅が増えることで、利用者の増加が期待できる。																																																																														
今後の取組	官民が共同して、きたひろスポーツコミッションの運営に必要な人材などを育成するとともに、安定した財源を確保するため、スポーツ合宿や大会誘致による収益増大のための事業に取組む。また、本町を拠点に活動するアンプティーサッカーチームを中心に「障がい者スポーツ」を通じた交流人口の拡大、関係人口の増大を図ることを目的にイベント等の活動を実施する。 施設整備においては、豊平総合運動公園のソフトテニス観客席を屋根付きのものへと更新し、スポーツを「観る」、チームを「支える」ことを目的とした来訪者、応援する人の利便性・安全性を向上させる。																																																																														